



岩手県立大生
大久保 建男

企業誘致で就職先を増やす考えは 今後モアンテナを高くし企業誘致に努めます

問 企業を誘致して、地元での就職先を増やすことが必要だと思いますが、お考えを伺います。

答 企業誘致についてはこれまで多くの議員が質問を行い推進を図ってきています。

昭和42年から村内各地に誘致され、その後小岩井地区に「盛岡西リサーチパーク」が造成され平成9年から22区画が分譲され、現在においては未創業を含め14区画が販売済みとなっています。

岩手県立大学に隣接している「イノベーションセンター」12部屋を用意して

問 防災行政無線が聞き取りやすく、対策



が必要と思いますが考えを伺います。

答 現在の行政無線は、昭和63年から平成3年に整備された設備であり老朽化も進んでいます。

「聞き取りにくい・こたます・音質が悪い」などの苦情があり、改善要望が多く寄せられています。

設備の老朽化から更新がせまられており、総務省が示しているアナログ方式からデジタル方式への変更を推進しており対応が求められています。

本村には、大学が4校あり、これらの優位さを前面に出しアンテナを高くして今後企業誘致に力を入れ若い方々の就職先を増やしてまいります。



盛岡大生
伊藤 一貴

菓子地区にも複合施設を 大きな課題であり検討します

問 滝沢村が市になったら、菓子にも中心になるような複合施設があれば良いと思います。

答 現在、村には「ふら」という建物があります。カフェ、会議室、ライブなどに使うスタジオ、子どもが遊べるスペースなど誰でも利用できます。「はっち」ができた事で、街中が前より明るくなったと思います。

滝沢にもこのような施設があればシンポルの存在になります。

また二つある大学の交流や地域の人、子ども達との交流の場にもなると思いますがお考えを伺います。

菓子地区の施設については、「若者定住」を重点施策にも掲げていますので、役場の施設ができた後の大きな課題だと思えます。



問 私は、今菓子に住んでいますが、街灯が少なくアルバイトなどで帰りが遅い時は真暗です。一人で歩きたくない場所も多いです。防犯面と併せて対策、改善策はありますか。

答 村は、一昨年から6年計画で5千数百個の防犯灯を全部LEDに取り替え、夜道を明るくし防犯効果を上げるように取り組んでいます。

数も不足しているという事ですので、議会として早急に担当課に伝え、調査し防犯灯を増やすなど善処してもらおうようにします。



新岩手農業協同組合
佐々木 菜摘

「住民自治日本一」を 掲げた理由は何か

地域課題を共有し「滝沢市」をめざす

問 「住民自治日本一」を掲げた理由を伺います。

「滝沢市」に移行後、どのようなまちづくりや活動を行っていくのか伺います。また、新たなチャレンジが必要だと思いますが考えを伺います。

答 関連がありますので二点の質問について包括的に回答します。

住民自治日本一については地方分権が進み（地方でできることは地方で）（地域でできることは地域で）との考えが進展し、住民協働の必要性のもと、住民

行政・議会が一体となって地域の課題に取り組みなければならぬと考えます。

つまり、地域課題を共有し三者が一体となった自治体を目指したいと考えます。

一方、国の借金が1000兆円にも膨らむ中で地方自治体は、いつまでも地方交付税に頼っていらねなくなり、今にも増して行財政改革に取り組みなければならぬと考えます。

市制移行後、福祉事務所の設置や社会福祉主事2名以上の配置など義務化されます。



例えば、生活保護の問題は必要書類をまとめて県に提出することから、認定・給付など自らの判断で実施しなければならなくなり、行政としての能力や資質を向上しなければなりません。

議員や職員が意識を変えることが住民自治日本一の基本であり、住民の方々と議会が一体となって素晴らしい「滝沢市」を作りたいと考えています。



自衛官
小座間 悠司

これからの通学時の安全確保は スクールガードとの連携強化

問 市になり住みやすい環境になれば人口も増え、子供たちも増加すると思えます。その為に、スクールバスを採用したり、通学路になる道路を広く設計する等、子供たちが安全、安心に通学できる環境を整備して欲しいと思います。

答 現在、子供たちの通学時の安全確保のため、村内各小学校にスクールガードの方々が配置されています。

スクールガードの皆さんは、朝の挨拶

から始まり、通学路の危険箇所などに立つなど、安全確保に努めていただいています。スクールガードの方々が、朝夕、村内各地で活動されている、以前、村内各地で起こっていた声かけ事案が激減しました。

スクールバスの利用も考えられますが、朝学校まで歩くことにより体のスイッチも入り健康に勉学に励むことができます。

通学路の安全確保には、県道、村道の整備も合わせて拡充していきたいと思えます。そして、スクールガードの方々と連携を強化し、更なる安全確保につとめます。



問 村から市になっても、これまで受け継がれてきた伝統文化は今後も受け継がれていかなければなりません。滝沢村に根づいた特色を守るためにも伝統文化の保護について伺います。

答 東日本大震災後、県内被災市町村は、祭りの復活のため、人々が力を合わせて震災後の心とコミュニティの復興に大きく寄り添いました。

伝統文化の持つ力が改めて見直されています。村内でも国、県、村指定の伝統文化があります。どの団体も活発に行われていますが、後継者育成に苦慮している面もあります。各団体と力を合わせ問題解決につとめます。